

社外からの評価／真正表明

社外からの評価

ESGインデックスへの組み入れ

J-POWERのサステナビリティに関する取り組みは外部から高い評価を受けています。2024年8月現在、FTSE Russell「FTSE Blossom Japan Index」「FTSE Blossom Japan Sector Relative Index」、MSCI社「MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数」に継続的に選定されています。また、2024年には「Morningstar日本株式ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除くREIT）」にも選定されました。これにより、GPIF（年金積立金管理運用独立行政法人）が採用するESG指数のうち、4つの構成銘柄となりました。



FTSE Blossom Japan Index Series

<https://www.ftserussell.com/products/indices/blossom-japan>

MSCIジャパンESGセレクト・リーダーズ指数

<https://www.msci.com/msci-japan-esg-select-leaders-index-jp>

Morningstar 日本株式 ジェンダー・ダイバーシティ・ティルト指数（除くREIT）

<https://indexes.morningstar.com/gender-diversity-indexes-jp>

真正表明

当社は、2019年より統合報告書を発行し、ステークホルダーの皆様との対話を重ねてまいりました。本年度の統合報告書では、中期経営計画2024-2026の紹介を中心に、J-POWERグループがエネルギー安定供給と気候変動への対応というミッション達成に向け、事業ポートフォリオ・ビジネスモデルのトランジションや、サステナビリティ経営の深化を通じて、持続的に企業価値向上に取り組むことをお示ししています。

また、情報開示の点では、TCFD提言に沿った気候変動シナリオ分析の内容を拡充したほか、新たに、自然関連財務情報に関するTNFD提言に基づく開示を行いました。今後も、財務・非財務、双方の側面から情報拡充を図っていきます。

本報告書は、経営企画部が編集の中心となって関係部署と協力し制作しています。私はESG総括の責任者として、その制作プロセスが正当であり、かつ記載内容が正確であることを表明します。

本報告書が、ステークホルダーの皆様にも、当社グループをより一層ご理解頂くための一助となれば幸いです。これからも本報告書の内容のさらなる充実に努め、ステークホルダーの皆様との対話に役立ててまいります。

サステナビリティに関する評価

IR活動

統合報告書やホームページでの情報開示の充実化にも力を入れています。2023年度は日興アイ・アール（株）が実施する「全上場企業ホームページ充実度ランキング」で業種別部門最優秀賞サイトに選定されました。

環境、気候変動

2019年度から気候変動に関する情報をTCFD開示として統合報告書で開示しており、2023年度のGPIFの国内株式運用機関が選ぶ「優れたTCFD開示」にも選定されています。

また、CDPから送付される質問書の「気候変動」および「水セキュリティ」について回答を行っています。2023年度は気候変動評価がBからAへ改善しました。

回答年度	2021年度	2022年度	2023年度
気候変動	B	B	A-
水セキュリティ	B-	B	B

社会

経済産業省および日本健康会議の健康経営優良法人認定制度において「健康経営優良法人2024（大規模法人部門）」の認定や、厚生労働省による子育てサポート企業の次世代特例認定マーク「プラチナくるみん」を取得しています。



代表取締役社長
社長執行役員
(ESG総括)

菅野 等